

平成29年度 中丸小学校 体育・健康プラン

【中期学校経営方針「健やかな体」達成目標】

- 重点研究「体育科」の学習指導を通して、運動の楽しさを味わうとともに、運動技能の向上を図ります。
- 子どもたちが企画・運営する集会やロング昼休みの時間(毎週木曜日)を計画的・効果的に活用して体力の向上を図ります。
- 養護教諭による学校保健委員会の運営を充実させ、健康な生活を目指そうとする意識を子どもにもたせませす。

＜児童生徒の体育・健康面の姿＞

- ・新体力テストでは、横浜市の平均を上回る項目が多い。ソフトボール投げ、反復横跳びといった、投げる力・瞬発力など、学年によっては下回る項目もある。
- ・体格は、横浜市平均とあまり変わらない。
- ・週に2日、1～6年生の希望者(100名程度)がラグビーの朝練習を行っている。地域の方からも協力を得て指導にあたっている。
- ・ほとんどの児童が、食事・運動・睡眠の大切を理解し、実践しようとしている。
- ・地域のスポーツクラブに所属している児童が多くみられる一方、あまり運動をしていない児童もあり、二極化の傾向が推測される。

＜体育・健康に関する指導の目標・方針＞

- ◎子ども一人ひとりが「わかる」「できる」喜びを実感し、互いにかかわり合う体育学習を目指す。
- ◎体育科学習で身に付けさせたい力を明確にし、主体的な学びを引き出す指導の在り方を探る。
- ◎健康な生活を目指そうとする子どもを育てるために、

健康教育(食育、学校保健委員会、特別活動、保健学習)の充実を図る。

【体力向上に関するキーワード】

運動機会、運動時間の拡大、仲間(異年齢集団)、目標・課題設定、自主性・主体性、学校全体での継続的な取り組み

(「子どもの体力向上のための取組ハンドブック」文部科学省より)

教科

《体育科・保健体育科での取組》

- ・学習の中で児童が活動を選択できる場面を設定し、主体的に学習できるようにする。【目標設定】
- ・本校重点研「体育科」の学習指導を通して、運動の楽しさを味わうとともに、運動技能の向上を図る。
- ・課題である、走る・投げる・瞬発力を高める運動の指導を充実させるようにする。

《他教科での取組》

- ・家庭科では、健康と食育との関連を図り、健康に過ごすための食生活について学習する。【健康】
- ・さまざまな教科で、健康・体育を意識した学習展開を図る。【健康】

課外活動

道徳・特活・総合

- ・運動委員会で体力向上にかかわる集会を企画・運営し、運動することの楽しさを感じられるようにする。【自主的】
- ・運動会は、体育の学習で学んだ能力をさらに発展させ、発表できる場とする。【仲間づくり、自主的】
- ・保健委員会では、児童の健康面における課題に基づき、より健康に生活するための活動を推進していく。また、安全に過ごすための活動も合わせて推進していく。【健康】
- ・たてわり班や兄弟学年で遊ぶ活動を通して、異年齢集団での遊びを通じた運動の機会をつくる。【仲間づくり】

- ・休み時間に外遊び及び運動の機会を確保する。 ・ロング昼休みに、みんなで遊ぶ時間を設定する。【運動機会・運動時間】
- ・歯科指導の充実を図る。【健康】 ・清掃強調週間等を活用した、環境整備の実践と清潔な生活と健康の関わりを理解する。【健康】
- ・地域総合型総合型地域スポーツクラブ(まる倶楽部)との連携を図る(ワラビーズ:ラグビー朝練習)【運動機会、仲間づくり】
- ・体育の行事に向けた朝練習(市体育大会)を行う。【運動機会・運動時間】

平成29年度 中丸小学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 体力アッププロジェクト(運動の日常化)

《ねらい》 運動の機会の確保、児童の体力・運動への意欲の向上

《方針》 ・子どもたちが企画・運営する体育的な集会活動

- ・休み時間の遊びの充実と場づくり ・異学年交流による仲間づくり
- ・継続的かつ繰り返し取り組むことのできる体育的活動

《内容》 ○短縄とびの継続的な取組【縄跳び検定】 ○大縄集会【大縄集会夏の陣、冬の陣】

○ラジオ体操 ○体力アップウィーク【体力テストチャレンジ】 ○ラグビー等の朝練習

●指標: ①縄跳びカードの記録 ②大縄集会の全校記録

③行事後の振り返り「事前・事後取組」「満足度」

④生活実態調査「一日のスポーツの時間」